

大総危第32号
令和7年10月3日

中国四国防衛局長
深 和 岳 人 様

広島県 大竹市長
(総務部危機管理課)

空母着艦資格取得訓練（CQ）に関する要請書について（依頼）

令和7年9月25日まで岩国基地で実施された第5空母航空団による空母艦載機着陸訓練（FCLP）に続いて、九州沖洋上において空母着艦資格取得訓練（CQ）が実施されている。

本訓練の実施に伴い、空母艦載機による騒音は激しさを増しており、とりわけ飛行ルート直下となる阿多田島においては、多大な負担を強いられている。

阿多田島は漁業従事者も多く、夜明け前には一日が始まる生活のなかで、夜間遅い時間に訓練を終えた空母艦載機が夜中に爆音とともに帰還し、また、滑走路運用時間を超えた運用がなされることもあり、島民生活を著しく脅かしている状況にある。

については、空母着艦資格取得訓練の実施にあたり、可能な限り騒音の軽減に努めるとともに、滑走路使用運行時間の遵守はもちろんのこと、基地周辺住民の安心安全に最大限配慮した運用がなされるよう、米側に求めているため、別添要請書のとおり、防衛大臣宛てに要請するものです。

御取り計らいのほど、よろしくお願い申し上げます。

空母着艦資格取得訓練（ＣＱ）に関する要請書

令和 7 年 1 0 月 3 日

防衛大臣 中 谷 元 様

令和 7 年 9 月 2 5 日まで岩国基地で実施された第 5 空母航空団による空母艦載機着陸訓練（ＦＣＬＰ）に続いて、九州沖洋上において空母着艦資格取得訓練（ＣＱ）が実施されている。

本訓練の実施に伴い、空母艦載機による騒音は激しさを増しており、とりわけ飛行ルート直下となる阿多田島においては、多大な負担を強いられている。

阿多田島は漁業従事者も多く、夜明け前には一日が始まる生活のなかで、夜間遅い時間に訓練を終えた空母艦載機が爆音とともに帰還し、また、滑走路運用時間を超えた運用がなされることもあり、島民生活を著しく脅かしている状況にある。

ついては、空母着艦資格取得訓練の実施にあたり、可能な限り騒音の軽減に努めるとともに、滑走路使用運行時間の遵守はもちろんのこと、基地周辺住民の安心安全に最大限配慮した運用がなされるよう、米側に求めていただきたく要請するものです。

広島県 大竹市長 入山 欣郎